

平成30年長崎市観光統計



長 崎 市

・観光客数

長崎市への観光客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの観光客割合を考慮して推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の観光客数から宿泊客数を減じて算出している。

・個人客数・団体客数（一般・学生）

団体客数（一般・学生）は市内主要観光施設における団体客数（一般・学生）の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数（国・地域別）

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計（MICE件数・MICE参加人員）

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般観光客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の観光客数に乗じて算出している。

学生観光客の観光消費額は、「教育旅行年報」（日本修学旅行協会発行）における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の観光客数に乗じて算出している。

また、経済波及効果については、「長崎県産業連関表（平成23年）」に基づき長崎県内への経済波及効果を算出している。

目 次

1	平成30年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	観光客数・観光消費額の推移	6
4	月別観光客数	8
5	個人客・団体客の推移	9
6	宿泊客・日帰り客の推移	10
7	交通機関別観光客数の推移	11
8	クルーズ客船乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	20
— 参考資料 —		
1	観光客数の推移	22
2	主要観光施設の入場者数	23
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	23
4	宿泊施設の状況	24

1 平成 30 年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
	20兆4,834億円	前年比	3.0%減(6,296億円減)
うち宿泊旅行	15兆8,040億円	前年比	1.7%減(2,758億円減)
日帰り旅行	4兆6,794億円	前年比	7.0%減(3,538億円減)
日本人国内延べ旅行者数			
	5億6,178万人	前年比	13.2%減(8,573万人減)
うち宿泊旅行	2億9,105万人	前年比	10.0%減(3,228万人減)
日帰り旅行	2億7,073万人	前年比	16.5%減(5,345万人減)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
	36,462円	前年比	11.8%増(3,856円増)
うち宿泊旅行	54,300円	前年比	9.2%増(4,568円増)
日帰り旅行	17,285円	前年比	11.3%増(1,759円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比3.0%減の20兆4,834億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比10.0%減、日帰り旅行が前年比16.5%減で、全体として前年比13.2%の減少となったものの、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比11.8%増となった。

(出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査」2018年年間値(確報)

【参考】

・台風発生数等

	平成30年	平成29年	平年値
台風発生数	29	27	25.6
台風上陸数	5	4	2.7
全国接近数	16	8	11.4
九州北部接近数	8	4	3.2

(出典) 気象庁「2018年(平成30年)の台風について」

訪日外客数

3, 119万1, 900人 前年比8.7%増 (約250万人増)

平成30年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年(2,869万900人)を8.7%上回り、過去最高となった。これは、東南アジアについては各市場における訪日旅行プロモーションが訪日需要を創造し、欧米豪市場については好調なクルーズ船需要やグローバルキャンペーンの実施によるものと考えられている。

(出典) 日本政府観光局(JNTO) 2018年年間推計値

外国人延べ宿泊者数

8, 858万9, 500人泊 前年比11.2%増 (約1, 059万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年(7,800万3,570人泊)を11.2%上回り、過去最高となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(約2,094万人泊、シェア26.5%)で、第2位以下は台湾(約1,147万人泊、シェア14.5%)、韓国(約1,126万人泊、シェア14.2%)、香港(約594万人泊、シェア7.5%)、アメリカ(533万人泊、シェア6.7%)と続き、上位5か国・地域で全体の約70%を占める。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で7,903万8,520人泊となっている。

(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」平成30年年間値(速報)

訪日外国人旅行消費額

4兆5, 189億円 前年比2.3%増 (1, 027億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

15万3, 029円 前年比0.6%減 (892円減)

訪日外国人の旅行消費額は、前年(4兆4,162億円)を2.3%上回り、年間値の過去最高となった。

訪日外国人全体では増加したものの、1人あたりの旅行支出は前年を下回った。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(1兆5,450億円、シェア34.2%)、次いで韓国(5,881億円、シェア13.0%)、台湾(5,817億円、シェア12.9%)、香港(3,358億円、シェア7.4%)、アメリカ(2,893億円、シェア6.4%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の73.9%を占める。

1人当たり旅行支出は、オーストラリアが最も高く(24万2千円)、次いでスペイン(23万7千円)、中国(22万4千円)の順で高い。

(出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成30年年間値(確報)

(2) 長崎市の観光動向

観光客数

705万5,400人	前年比0.3%減(2万2,300人減)
①宿泊客数	266万5,600人(前年比4.3%増)
日帰り客数	438万9,800人(前年比2.9%減)
②個人客数	620万2,900人(前年比1.3%増)
団体客数	85万2,500人(前年比10.5%減)
┌ 一般団体客数	56万3,300人(前年比14.4%減)
└ 学生団体客数(修学旅行生)	28万9,200人(前年比1.9%減)

外国人延べ宿泊客数

30万6,019人泊 前年比2.9%増(約9,000人泊増)

クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数

入港数 220隻	前年比17.6%減(47隻減)
乗客・乗務員数 93万6,046人	前年比11.1%減(約11.6万人減)
┌ 国内クルーズ船 入港数 4隻	前年比100%(前年と同数)
└ 乗客・乗務員数 2,748人	前年比5.8%減(170人減)
国際クルーズ船 入港数 216隻	前年比17.9%減(47隻減)
乗客・乗務員数 93万3,298人	前年比11.1%減(約11.6万人減)

観光消費額

1,496億8,945万円【過去最高】 前年比2.6%増(約38億円増)

経済波及効果(長崎県内)

2,292億円【過去最高】 前年比2.5%増(約55億円増)

観光客1人あたり市内観光消費額

平均 21,216円	前年比3.0%増(610円増)
宿泊客 31,012円	前年比3.4%増(1,033円増)
日帰り客 15,268円	前年比0.2%減(37円減)

平成30年の長崎市の観光客数は、過去最高であった昨年の707万7,700人から2万2,300人減(0.3%減)の705万5,400人となった。

このうち日帰り客数は438万9,800人と前年を下回ったものの、宿泊客数は266万5,600人と前年を上回った。また、旅行形態別にみても、個人客数が前年比1.3%増の620万2,900人、団体客数が前年比10.5%減の85万2,500人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比8,537人増(2.9%増)の30万6,019人となった。国・地域別に見ると、上位3か国は韓国、中国、台湾となっているが、前年度2

位の台湾は大幅減となり、3位となった。上位3か国で約61%を占める状況は変わらず、アジア地域で全体の約74.5%を占めている。

平成30年の観光消費額は、観光客数は前年を下回ったものの、前年比約38億円増（2.6%増）の1,496億8,945万円で過去最高となった。また、長崎県内への経済波及効果についても、前年比55億円増（2.5%増）の2,292億円で過去最高となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

・クルーズ客船の入港隻数減少に伴う観光客の減

長崎港へのクルーズ客船の入港実績は博多港（279隻）、那覇港（243隻）に次ぐ、全国第3位の入港数であったが、対前年比17.6%減の220隻であった。

入港したクルーズ客船の中で、最も多かった中国からの乗客は前年比8.7%減の約62万8,000人と減少したが、台湾からの乗客については前年とほぼ同数の約1万2,000人となっており、アジア地域で全体の約94.5%を占めている。

中国発クルーズの減少は、中国のクルーズ市場の急拡大に伴うクルーズ各社の競争過熱の結果、市場が軟化し調整局面に入ったことによると見られており、この影響によるクルーズ客船の入港数減により、乗客・乗務員数（日帰り観光客扱い）11万6,000人の観光客が減となった。

その一方で、航空機や自動車（観光バス含む）での入込は増となったことなどにより、全体の観光客は、対前年比2万2,300人の減に留まった。

・宿泊客数の増加による観光消費額の増

宿泊客数は、過去最高の観光客を記録した2月のランタンフェスティバルや4月にリニューアルした大型リゾート施設における夜間イベントなどの取組に加え、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録や、「明治日本の産業革命遺産」との2つの世界遺産の相乗効果もあり、全体として前年比4.3%増の266万5,600人となった。観光動向調査における長崎来訪の主目的に世界遺産巡りを選んだ観光客の割合は、明治日本の産業革命遺産が4%→11%、長崎と天草地方の潜伏キリシタン遺産が0.5%→4.2%と、合計で前年比3倍以上の割合に増えている。

観光消費額についても、宿泊客の観光消費単価が前年比3.4%増加しており、消費単価の高い宿泊客が増となったことにより、過去最高となる1,497億円となった。これにより県内への経済波及効果は2,292億円となり、これも過去最高となった。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		平成29年	平成30年	平成30年	
				構成比	前年比増減
観光客数		7,077,700	7,055,400	100.0	▲0.3
旅行形態別	個人客数	6,124,800	6,202,900	87.9	1.3
	団体客数	952,900	852,500	12.1	▲10.5
	一般	658,100	563,300	8.0	▲14.4
	学生	294,800	289,200	4.1	▲1.9
宿泊の有無別	宿泊客数	2,556,900	2,665,600	37.8	4.3
	日帰り客数	4,520,800	4,389,800	62.2	▲2.9
交通機関別	JR	1,266,400	1,236,000	17.5	▲2.4
	自動車	3,872,800	3,979,400	56.4	2.8
	船舶	1,213,600	1,098,200	15.6	▲9.5
	航空機	724,900	741,800	10.5	2.3
観光消費額		1,458	1,497		2.7
経済波及効果		2,237	2,292		2.5

3 観光客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	観光客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成 15 年	5,037,500	▲ 5,700	▲0.1	71,012,330	1,459,265	2.1
平成 16 年	4,934,700	▲ 102,800	▲2.0	68,043,311	▲ 2,969,019	▲4.2
平成 17 年	5,393,500	458,800	9.3	72,150,208	4,106,897	6.0
平成 18 年	5,699,300	305,800	5.7	77,721,719	5,571,511	7.7
平成 19 年	5,640,900	▲ 58,400	▲1.0	77,422,055	▲ 299,664	▲0.4
平成 20 年	5,559,500	▲ 81,400	▲1.4	75,890,453	▲ 1,531,602	▲2.0
平成 21 年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	▲ 788,838	▲1.0
平成 22 年	6,108,300	522,700	9.4	(81,189,235) 110,880,935	(6,087,620) 35,779,320	(8.1) 47.6
平成 23 年	5,944,700	▲163,600	▲2.7	(79,296,173) 109,766,697	(▲1,893,062) ▲ 1,114,238	(▲2.3) ▲1.0
平成 24 年	5,952,900	8,200	0.1	(80,441,679) 115,446,919	(1,145,506) 5,680,222	(1.4) 5.2
平成 25 年	6,078,000	125,100	2.1	(83,099,360) 120,320,106	(2,657,681) 4,873,187	(3.3) 4.2
平成 26 年	6,306,800	228,800	3.8	(85,527,640) 124,323,000	(2,428,280) 4,002,894	(2.9) 3.3
平成 27 年	6,693,800	387,000	6.1	(90,418,408) 136,834,458	(4,890,768) 12,511,458	(5.7) 10.1
平成 28 年	6,723,500	29,700	0.4	(85,110,651) 131,378,500	(▲5,307,757) ▲5,455,958	(▲5.9) ▲4.0
平成 29 年	7,077,700	354,200	5.3	(88,072,698) 145,846,150	(2,962,047) 14,467,650	34.8 11.0
平成 30 年	7,055,400	▲22,300	▲0.3	149,689,454	3,843,304	2.6

※ 観光消費額は、平成 22 年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧) 平成 12 年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新) 連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額

図1 観光客数・観光消費額の推移

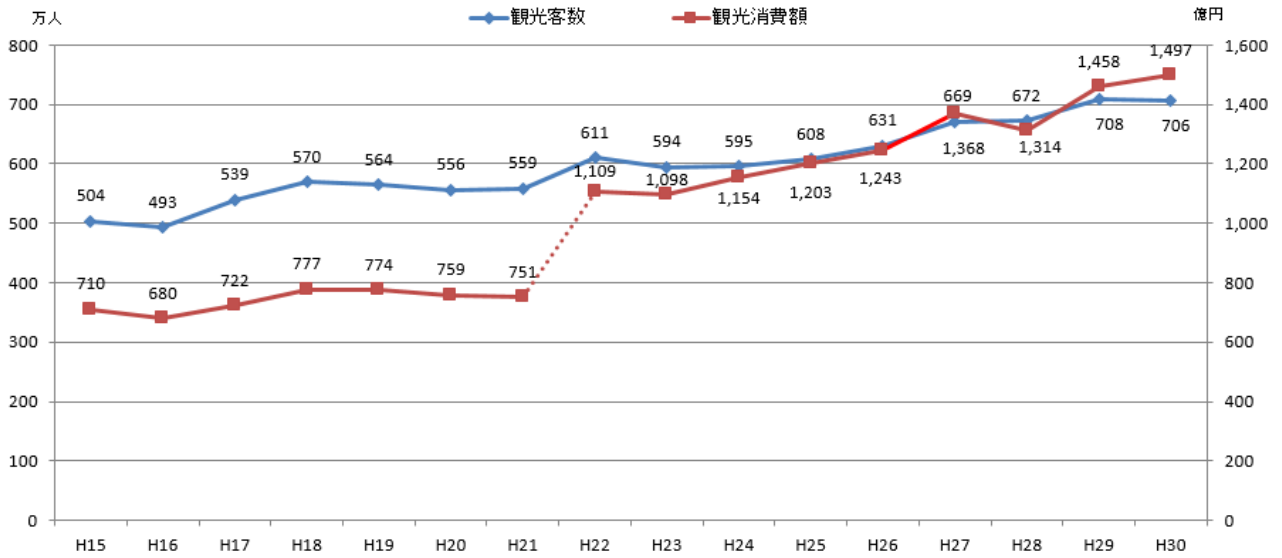
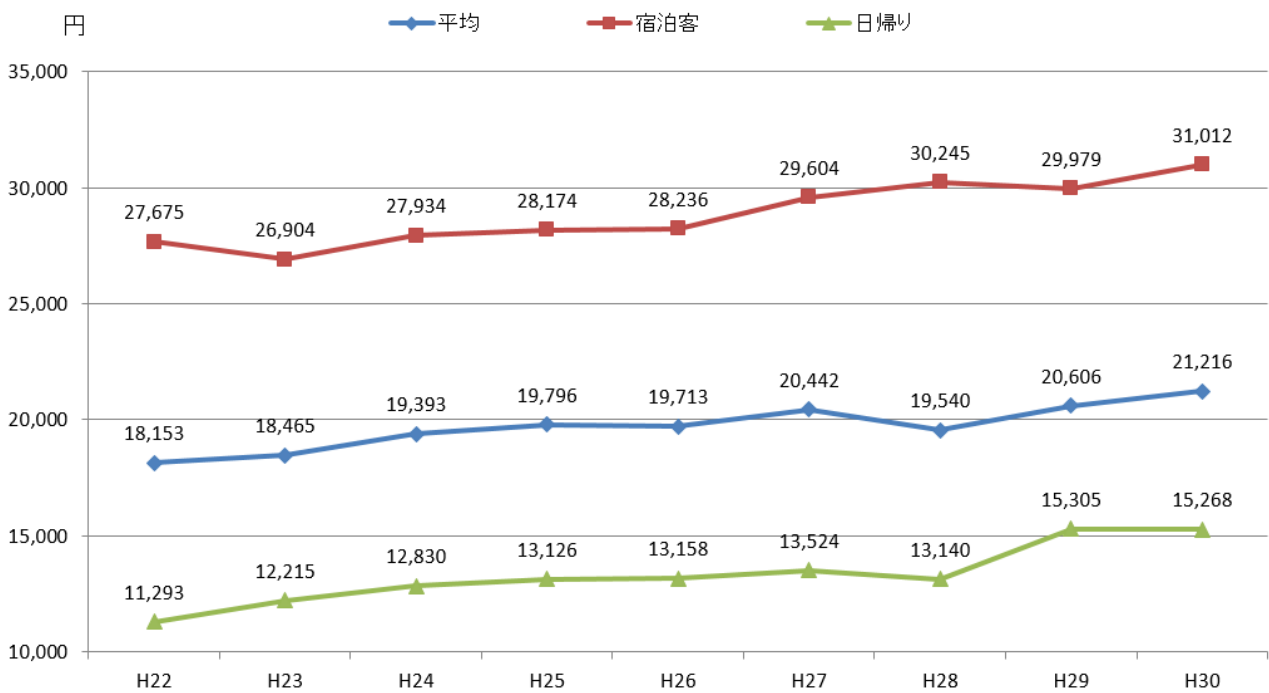


図2 平均観光消費単価の推移

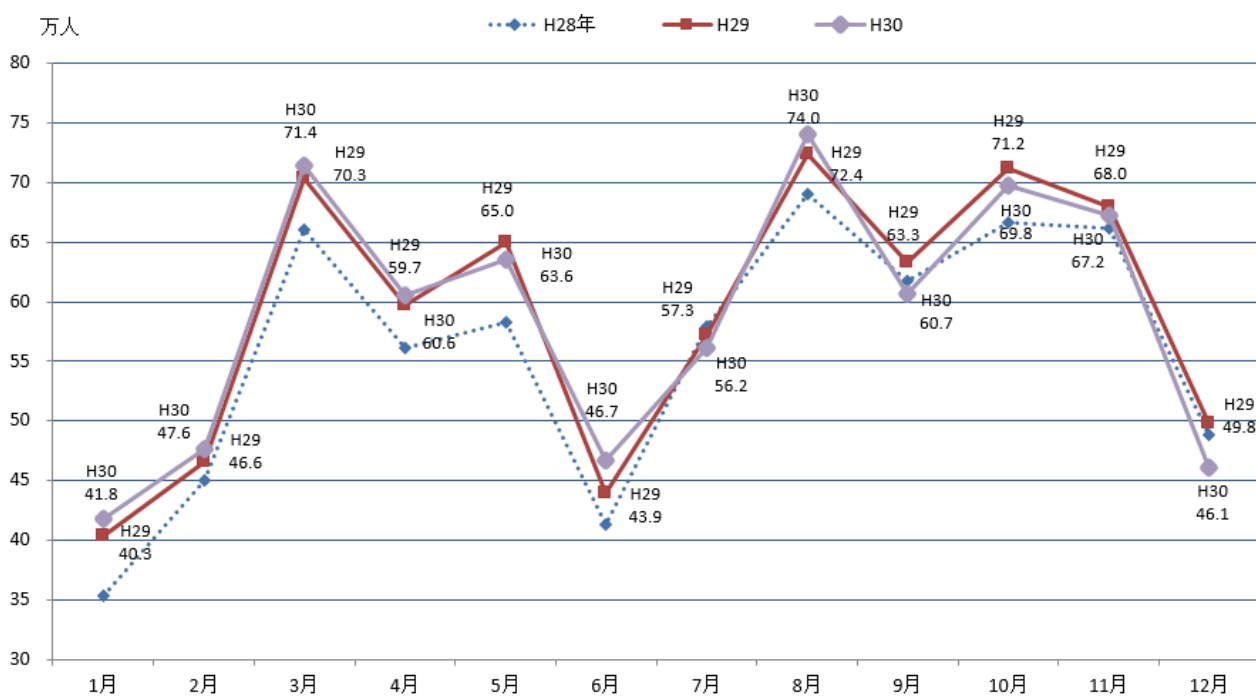


4 月別観光客数

【単位：人、％】

月	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	構成比	
				構成比	前年比増減
1 月	353,300	403,100	418,300	5.9	3.8
2 月	450,000	465,600	476,000	6.8	2.2
3 月	660,900	703,400	713,700	10.1	1.5
4 月	561,400	597,200	605,900	8.6	1.5
5 月	582,400	650,200	635,600	9.0	▲2.2
6 月	412,600	439,100	467,000	6.6	6.4
7 月	578,800	572,600	561,500	8.0	▲1.9
8 月	690,400	724,300	740,000	10.5	2.2
9 月	617,800	632,500	606,500	8.6	▲4.1
10 月	666,300	711,500	697,500	9.9	▲2.0
11 月	661,300	680,100	672,000	9.5	▲1.2
12 月	488,300	498,100	461,400	6.5	▲7.4
計	6,723,500	7,077,700	7,055,400	100.0	▲0.3

図3 月別観光客数の推移

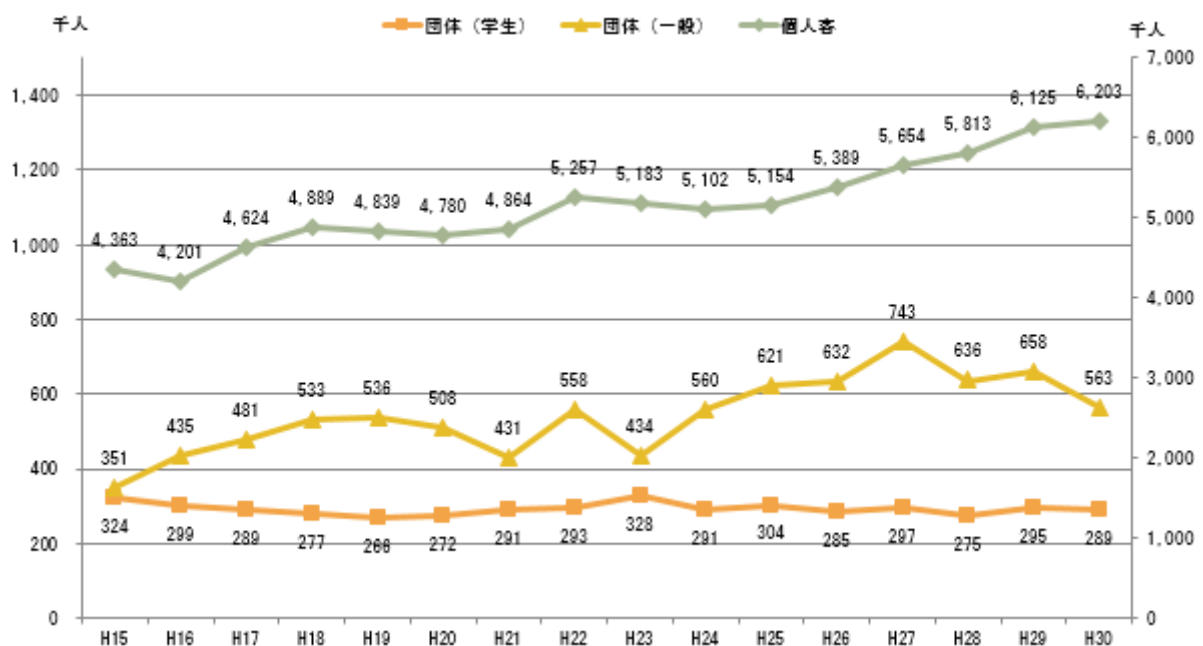


5 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成15年	4,362,700	2.7	674,800	▲15.0	350,500	▲15.9	324,300	▲14.0
平成16年	4,200,800	▲3.7	733,900	8.8	435,400	24.2	298,500	▲8.0
平成17年	4,624,300	10.1	769,200	4.8	480,500	10.4	288,700	▲3.3
平成18年	4,889,300	5.7	810,000	5.3	533,000	10.9	277,000	▲4.1
平成19年	4,839,000	▲1.0	801,900	▲1.0	535,500	0.5	266,400	▲3.8
平成20年	4,779,800	▲1.2	779,700	▲2.8	508,000	▲5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	▲7.4	430,500	▲15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	▲1.4	761,800	▲10.5	434,000	▲22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	▲1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	▲11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	▲0.7	632,200	1.9	285,200	▲6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9

図4 個人客・団体客の推移

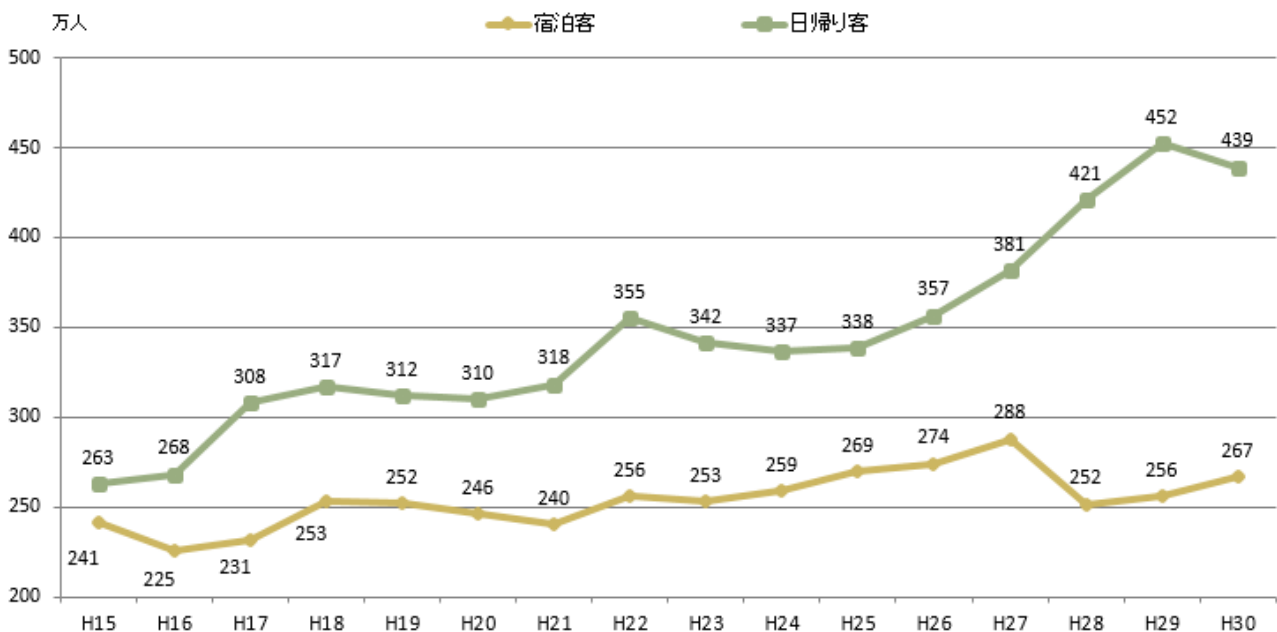


6 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	前年比増減	構成比	人数	前年比増減	構成比
平成 15 年	2,412,000	3.0	47.9	2,625,500	▲2.8	52.1
平成 16 年	2,253,700	▲6.6	45.7	2,681,000	2.1	54.3
平成 17 年	2,311,400	2.6	42.9	3,082,100	15.0	57.1
平成 18 年	2,533,600	9.6	44.5	3,165,700	2.7	55.5
平成 19 年	2,521,500	▲0.5	44.7	3,119,400	▲1.5	55.3
平成 20 年	2,460,100	▲2.4	44.3	3,099,400	▲0.6	55.7
平成 21 年	2,401,700	▲2.4	43.0	3,183,900	2.7	57.0
平成 22 年	2,557,700	6.5	41.9	3,550,600	11.5	58.1
平成 23 年	2,529,300	▲1.1	42.5	3,415,400	▲3.8	57.5
平成 24 年	2,586,800	2.3	43.5	3,366,100	▲1.4	56.5
平成 25 年	2,694,100	4.1	44.3	3,383,900	0.5	55.7
平成 26 年	2,741,500	1.8	43.5	3,565,300	5.4	56.5
平成 27 年	2,879,800	5.0	43.0	3,814,000	7.0	57.0
平成 28 年	2,515,700	▲12.6	37.4	4,207,800	10.3	62.6
平成 29 年	2,556,900	1.6	36.1	4,520,800	7.4	63.9
平成 30 年	2,665,600	4.3	37.8	4,389,800	▲2.9	62.2

図5 宿泊客・日帰り客の推移

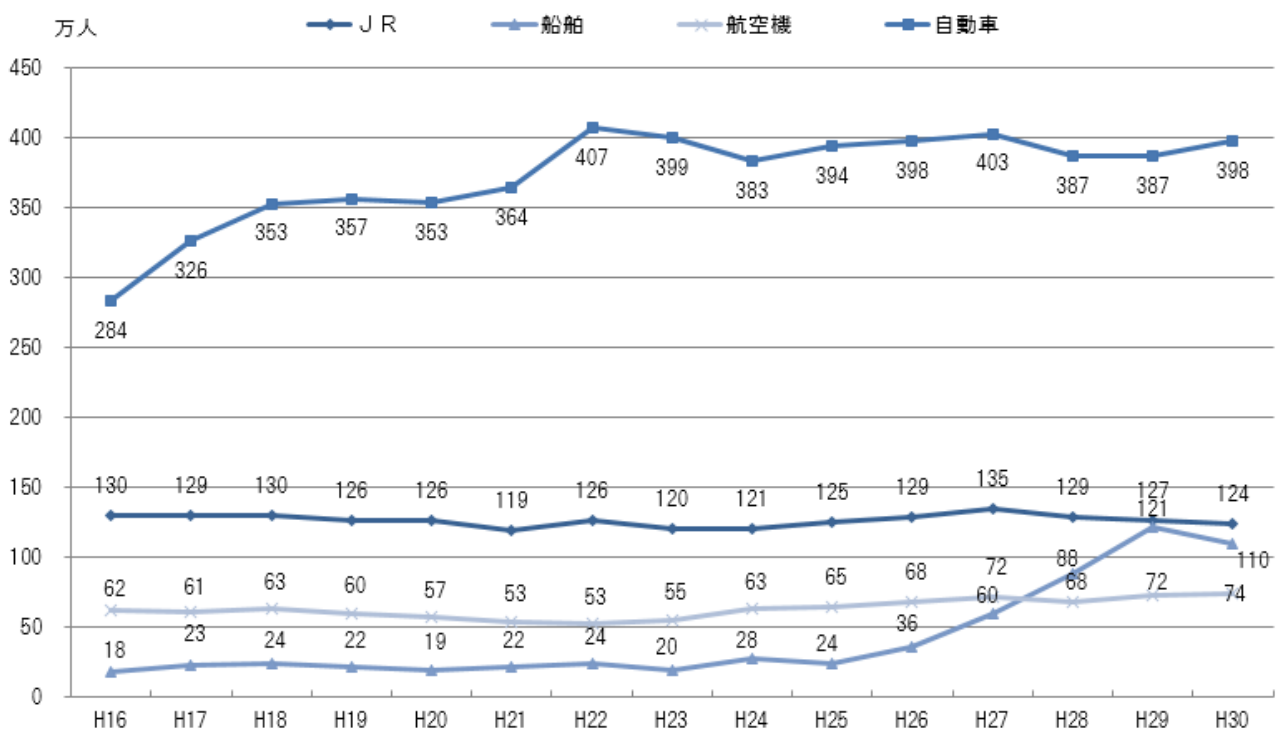


7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

年	J R		自動車		船舶		航空機	
	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減
平成 16 年	1,302,300	▲3.3	2,836,300	0.7	179,600	▲16.9	616,500	▲6.4
平成 17 年	1,294,600	▲0.6	3,258,400	14.9	225,900	25.8	614,600	▲0.3
平成 18 年	1,297,500	0.2	3,530,100	8.3	239,200	5.9	632,500	2.9
平成 19 年	1,260,200	▲2.9	3,566,000	1.0	219,400	▲8.3	595,300	▲5.9
平成 20 年	1,262,500	0.2	3,533,800	▲0.9	191,400	▲12.8	571,800	▲3.9
平成 21 年	1,191,600	▲5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	▲6.8
平成 22 年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	▲0.4
平成 23 年	1,201,900	▲4.6	3,994,900	▲2.0	198,300	▲18.1	549,600	3.5
平成 24 年	1,207,900	0.5	3,832,000	▲4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成 25 年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	▲15.0	648,900	2.2
平成 26 年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成 27 年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成 28 年	1,291,700	▲4.2	3,870,900	▲3.9	879,200	46.4	681,700	▲4.9
平成 29 年	1,266,400	▲2.0	3,872,800	0.1	1,213,600	38.0	724,900	6.3
平成 30 年	1,236,000	▲2.4	3,979,400	2.8	1,098,200	▲9.5	741,800	2.3

図 6 交通機関別観光客数の推移



8 クルーズ客船乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	197 隻	717,288	267 隻	1,052,455	220 隻	936,046	▲11.1

(2) 国内クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	7 隻	5,565	4 隻	2,918	4 隻	2,748	▲5.8

(3) 国際クルーズ客船乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

順位	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比
1	中国	446,366	中国	687,386	中国	627,789	90.0
2	アメリカ	13,453	日本	13,652	台湾	11,756	1.7
3	日本	12,738	アメリカ	13,495	アメリカ	10,082	1.5
4	カナダ	9,728	台湾	11,589	日本	9,186	1.3
5	オーストラリア	8,120	オーストラリア	7,623	オーストラリア	8,646	1.2
-	その他	30,856	その他	33,311	その他	30,075	4.3
計	-	521,261	-	767,056	-	697,534	100.0

② 乗務員数

【単位:人、%】

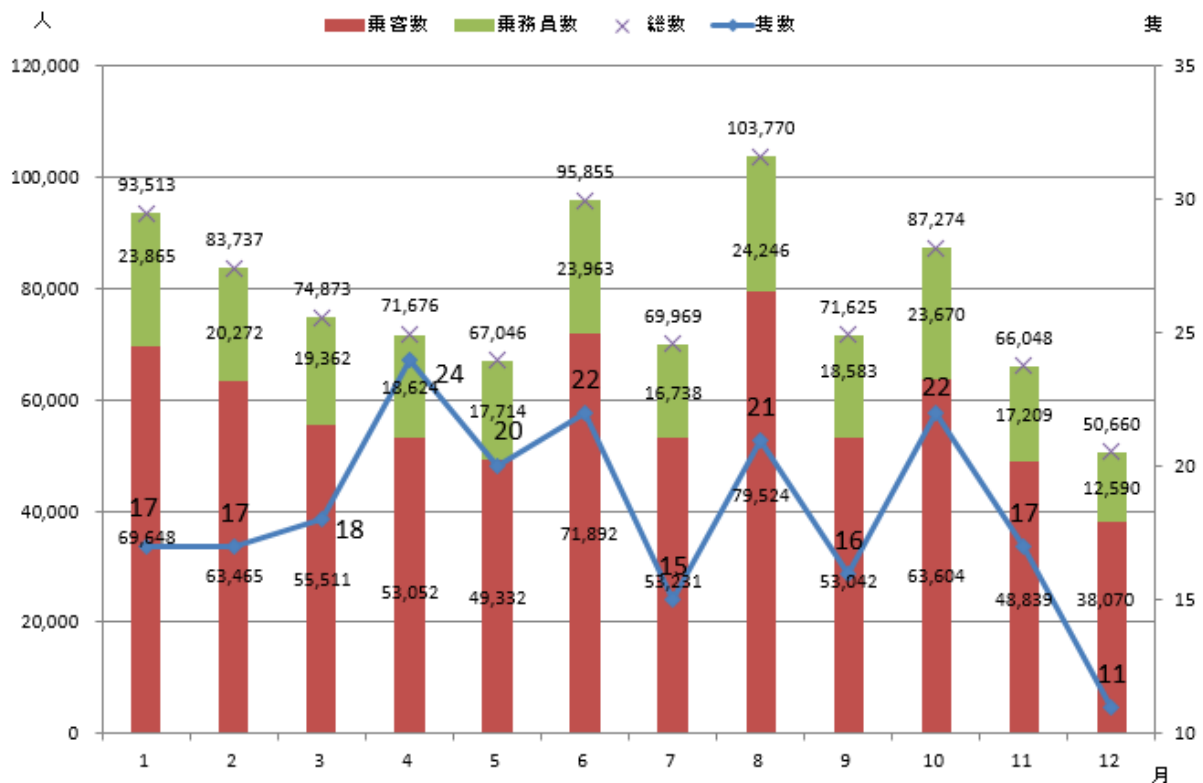
	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	前年比増減
計	-	190,462	-	282,481	-	235,764	▲16.5

乗客・乗務員数(①+②)

【単位:人、%】

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	190 隻	711,723	263 隻	1,049,537	216 隻	933,298	▲11.1

図7 月別クルーズ客船入港隻数・乗客・乗務員数

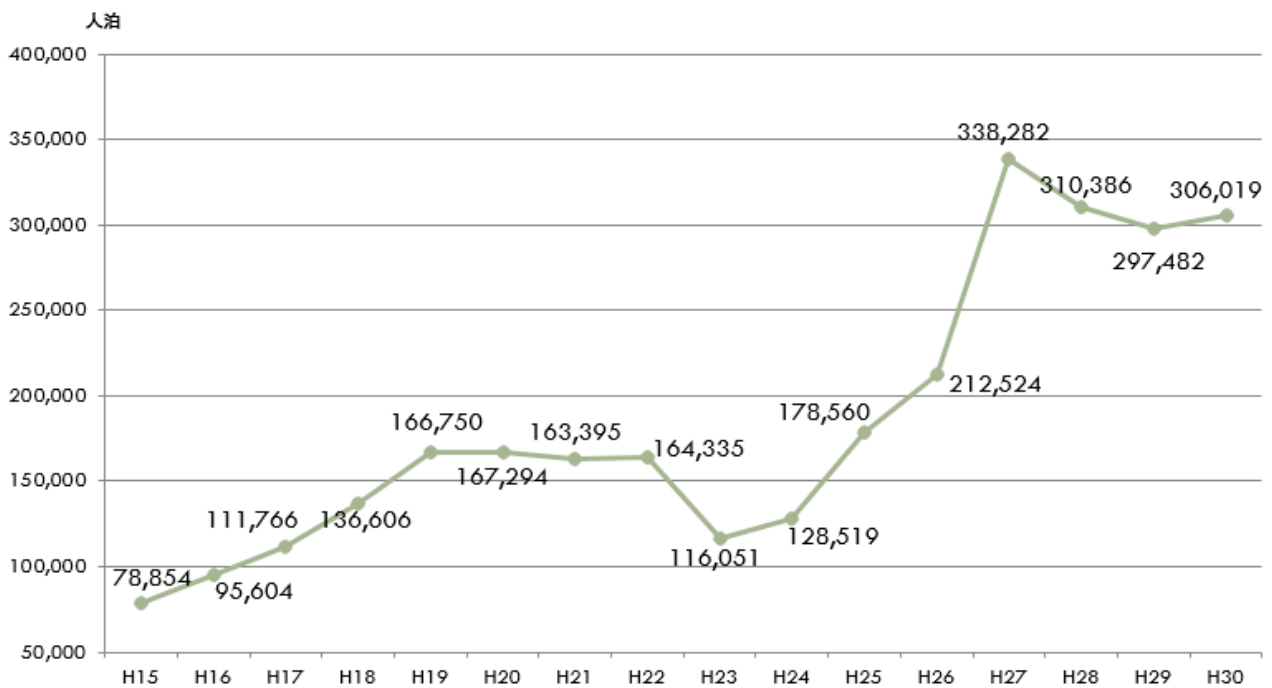


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成 15 年	78,854	5.3
平成 16 年	95,604	21.2
平成 17 年	111,766	16.9
平成 18 年	136,606	22.2
平成 19 年	166,750	22.1
平成 20 年	167,294	0.3
平成 21 年	163,395	▲ 2.3
平成 22 年	164,335	0.6
平成 23 年	116,051	▲ 29.4
平成 24 年	128,519	10.7
平成 25 年	178,560	38.9
平成 26 年	212,524	19.0
平成 27 年	338,282	59.2
平成 28 年	310,386	▲ 8.2
平成 29 年	297,482	▲ 4.2
平成 30 年	306,019	2.9

図 8 外国人延べ宿泊者数の推移

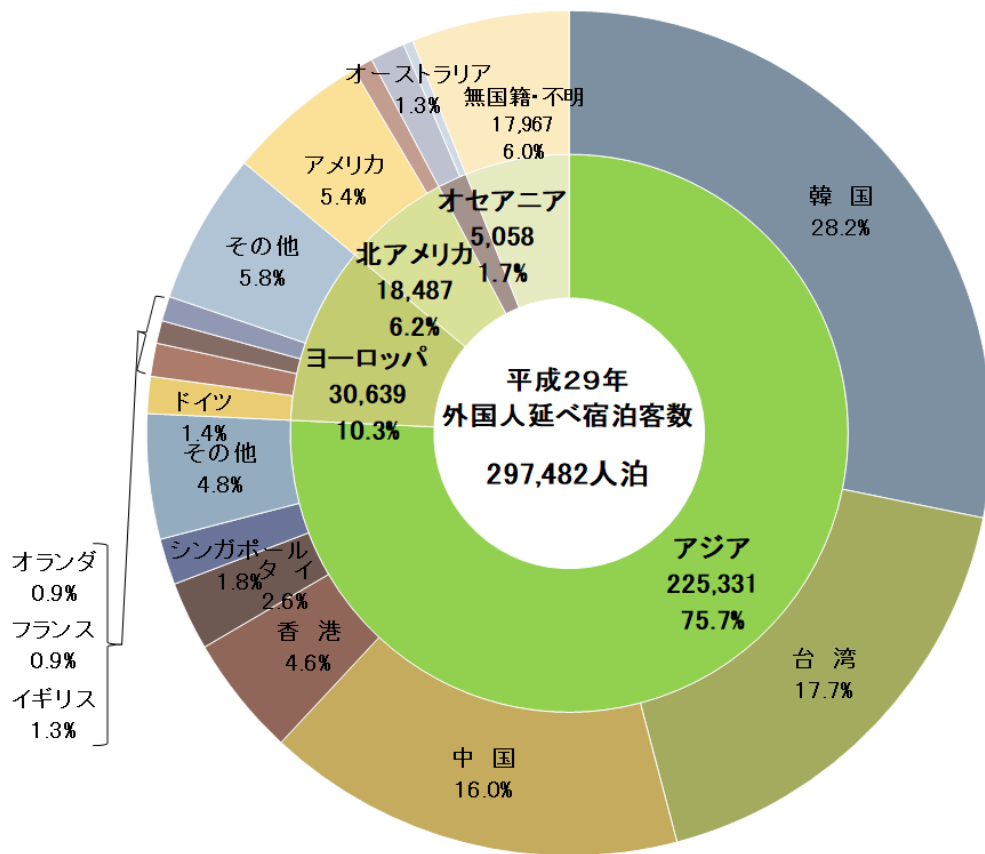
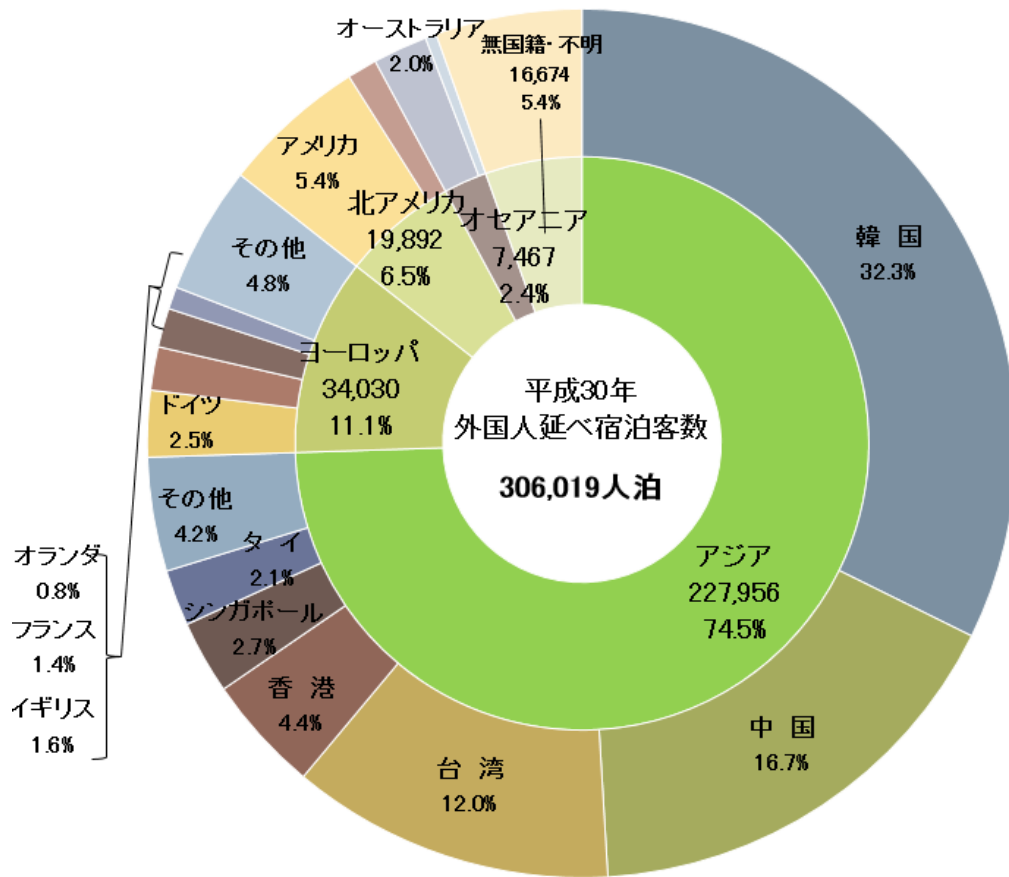


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年			
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比	前年比増減
1	韓国	76,262	韓国	83,920	韓国	98,875	32.31	17.8
2	台湾	49,444	台湾	52,604	中国	51,228	16.74	7.3
3	中国	46,797	中国	47,745	台湾	36,814	12.03	▲30.0
4	アメリカ	14,029	アメリカ	16,197	アメリカ	16,494	5.39	1.8
5	香港	12,198	香港	13,746	香港	13,312	4.35	▲3.2
6	ドイツ	10,119	タイ	7,831	シンガポール	8,354	2.73	58.7
7	タイ	7,698	シンガポール	5,265	ドイツ	7,559	2.47	80.2
8	シンガポール	6,704	フィリピン	4,903	タイ	6,396	2.09	▲18.3
9	オーストラリア	5,804	ドイツ	4,194	オーストラリア	6,212	2.03	57.0
10	イギリス	4,718	オーストラリア	3,957	イギリス	4,927	1.61	30.4
11	フランス	4,594	イギリス	3,778	フィリピン	4,560	1.49	▲7.0
12	オランダ	4,594	オランダ	2,826	フランス	4,437	1.45	71.4
13	フィリピン	4,501	フランス	2,588	カナダ	2,571	0.84	29.0
14	カナダ	2,483	インドネシア	2,326	オランダ	2,540	0.83	▲10.1
15	ノルウェー	2,452	カナダ	1,993	マレーシア	2,418	0.79	42.6
-	その他	57,989	その他	43,609	その他	39,322	12.85	▲9.8
計		310,386		297,482		306,019	100%	2.9

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



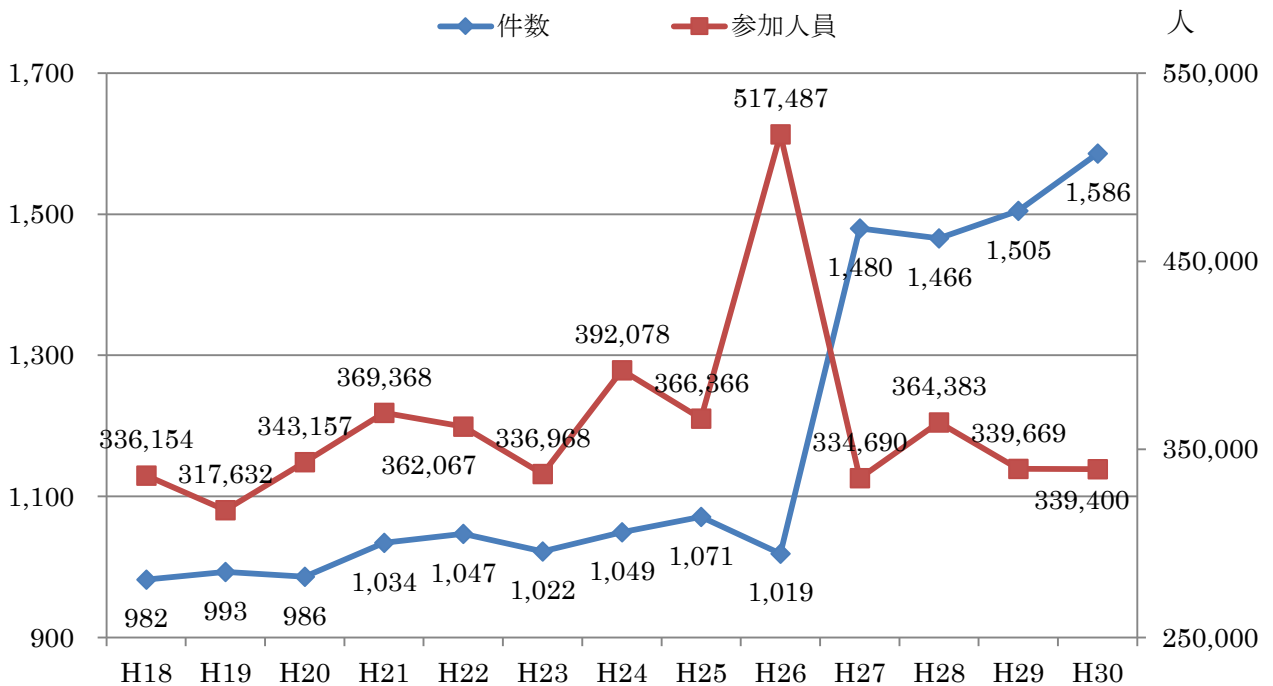
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成 18 年	982	—	—
平成 19 年	993	—	—
平成 20 年	986	—	—
平成 21 年	1,034	—	—
平成 22 年	1,047	—	—
平成 23 年	1,022	—	—
平成 24 年	1,049	745	304
平成 25 年	1,071	768	303
平成 26 年	1,019	797	222
平成 27 年	1,480	1,246	234
平成 28 年	1,466	1,217	249
平成 29 年	1,505	1,214	291
平成 30 年	1,586	1,323	263

図 10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

【単位：件、％】

規模（人数ベース）	件数			
	平成 29 年	平成 30 年	構成比	前年比増減
100 人未満	769	804	50.7	4.6
100 人以上 ～ 300 人未満	451	500	31.5	10.9
300 人以上 ～ 500 人未満	127	125	7.9	▲1.6
500 人以上 ～ 1,000 人未満	90	96	6.1	6.7
1,000 人以上 ～ 2,000 人未満	40	40	2.5	0.0
2,000 人以上	28	21	1.3	▲25.0
計	1,505	1,586	100.0	5.4

【単位：件、人、％】

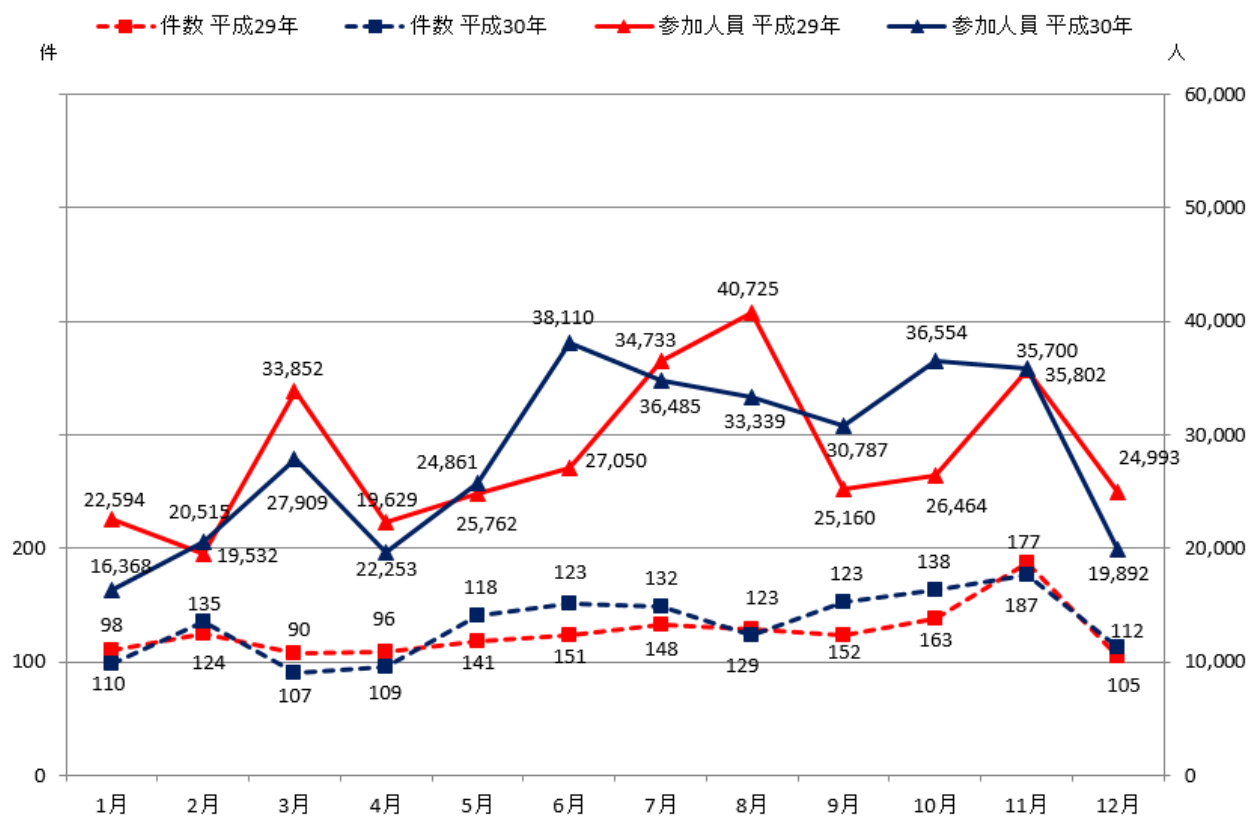
規模	件数				参加人員			
	平成 29 年	平成 30 年	構成比	前年比増減	平成 29 年	平成 30 年	構成比	前年比増減
県内大会	1,073	1,196	75.4	11.5	220,513	214,855	63.3	▲2.6
九州大会	208	182	11.5	▲12.5	49,199	54,075	15.9	9.9
西日本大会	17	23	1.4	35.3	4,242	7,457	2.2	75.8
全国大会	190	173	10.9	▲8.9	52,603	58,008	17.1	10.3
国際大会	17	12	0.8	▲29.4	13,112	5,005	1.5	▲61.8
計	1,505	1,586	100.0	5.4	339,669	339,400	100.0	▲0.1

(3) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	平成 29 年	平成 30 年	構成比	平成 29 年	平成 30 年	構成比
1 月	110	98	6.2	22,594	16,368	4.8
2 月	124	135	8.5	19,532	20,515	6.0
3 月	107	90	5.7	33,852	27,909	8.2
4 月	109	96	6.0	22,253	19,629	5.8
5 月	118	141	8.9	24,861	25,762	7.6
6 月	123	151	9.5	27,050	38,110	11.2
7 月	132	148	9.3	36,485	34,733	10.2
8 月	129	123	7.7	40,725	33,339	9.8
9 月	123	152	9.6	25,160	30,787	9.1
10 月	138	163	10.3	26,464	36,554	10.8
11 月	187	177	11.2	35,700	35,802	10.6
12 月	105	112	7.1	24,993	19,892	5.9
計	1,505	1,586	100.0	339,669	339,400	100.0

図 11 月別の開催件数及び参加人員



12 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果2,292億円が、「平成30年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,323億円の約1.73倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

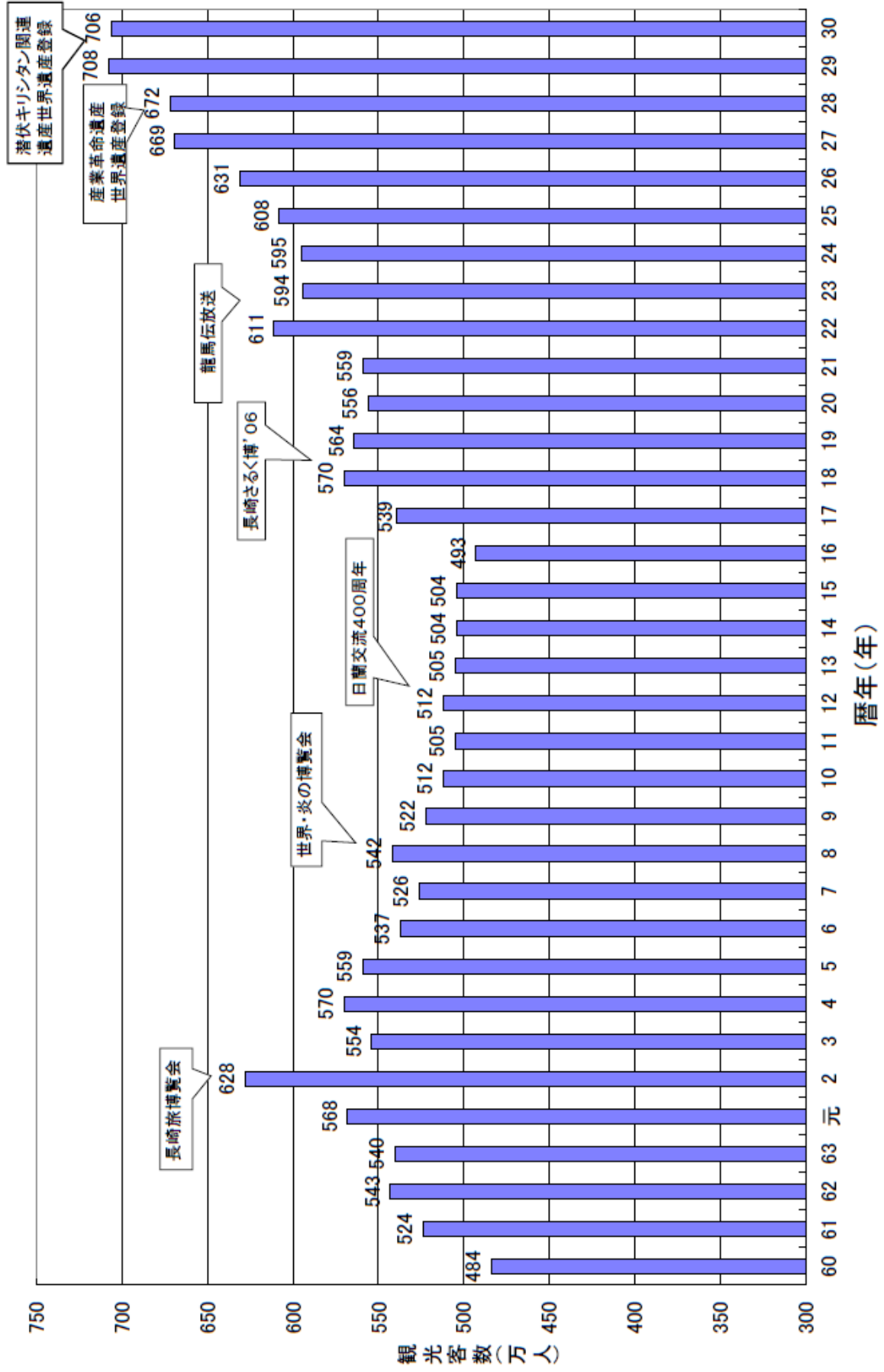
雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で33,448人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食店（16,620人）」、「商業（5,873人）」、「宿泊業（3,549人）」である。

【単位：億円、人、％】

項目	平成 29 年	平成 30 年	前年比増減
総合効果 (①+②)	2,237	2,292	2.5
直接効果…①	1,291	1,323	2.5
飲食店	826	837	1.3
宿泊業	243	255	4.9
商業ほか	222	231	4.1
波及効果…②	946	969	2.4
間接1次波及効果	542	555	2.4
間接2次波及効果	404	414	2.5
就業誘発効果 (就業者誘発数)	32,693	33,448	2.3

参 考 资 料

1 観光客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	前年比増減
グラバー園	1,013,646	1,005,343	968,497	▲3.7
出島	404,788	500,345	543,981	8.7
原爆資料館	678,856	711,324	673,617	▲5.3
計	2,097,290	2,217,012	2,186,095	▲1.3

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：万人、％】

イベント名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	90.0	94.0	106.0	12.8
長崎帆船まつり	4.9	21.2	27.5	29.7
計	94.9	115.2	133.5	15.9

(2) 経済波及効果

【単位：億円、％】

イベント名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	87.8	93.9	103.5	10.2
長崎帆船まつり	2.2	9.6	10.5	9.4
計	90.0	103.5	114.0	10.1

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員（平成30年4月1日現在）

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	27	108	2,546	103	2,757	591	4,860	579	6,030
旅館	36	639	79	53	771	2,460	132	280	2,872
ビジネスホテル	27	58	2,198	8	2,264	190	3,094	37	3,321
民宿・ ペンション	37	248	53	19	320	559	81	35	675
ユースホテル ・ホテル	6	27	26	10	63	111	129	45	285
公営宿泊施設 ・保養所	15	98	226	20	344	500	1,082	120	1,702
計	148	1,178	5,128	213	6,519	4,411	9,378	1,096	14,885

(2) 種別・規模別の宿泊施設数（平成30年4月1日現在）

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上	100人以上	200人以上	300人以上	400人以上	500人以上	計
		100人未満	200人未満	300人未満	400人未満	500人未満		
ホテル	3	4	6	6	6	1	1	27
旅館	23	7	2	1	1	1	1	36
ビジネスホテル	7	9	6	3	1	1	0	27
民宿・ ペンション	34	3	0	0	0	0	0	37
ユースホテル ・ホテル	4	2	0	0	0	0	0	6
公営宿泊施設 ・保養所	7	2	1	4	0	0	1	15
計	78	27	15	14	8	3	3	148

平成30年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-0031

長崎市桜町 4-1（長崎商工会館 4 階）

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和元年 6 月



長 崎 市